

グリーン四国

四国森林管理局



四国山の日

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp

No.1143 2015年6月号

林野庁長官感謝状、高知工業高校建築科贈呈

～平成26年度国民の森林(もり)づくり推進功労者～

当局から推薦しました「高知県立高知工業高等学校建築科」に
林野庁長官感謝状が授与されました。 【詳細は2頁】



浅川局長（右）より生徒代表に感謝状贈呈



浅川局長へ、受賞のお礼を述べる生徒代表

「高知県立高知工業高等学校建築科」
 林野庁長官感謝状が贈呈される
 ～平成二六年度国民の森林づくり推進功労者～
 〈総務課・技術普及課〉

五月二七日、国民の森林
 「高知県立高知工業高等学
 づくり推進功労者として、
 校建築科」への林野庁長官

感謝状の伝達式
 が、高知工業高
 等学校において
 行われ、当局の
 浅川局長より感
 謝状が贈呈され
 ました。

高知工業高
 等学校建築科
 (以下、建築科)
 は、授業の一環
 として、平成
 二〇年度から
 このように、建築科では、

森林管理署管内の工石山
 国有林において、展望台の
 製作を実施しており、平成
 二五年度には、香美市香北
 町からの依頼を受け、江戸
 時代の一六八七年に建立さ
 れた、歴史的建築物「観音
 堂」の建て替えを行い、そ
 の際には、「あり」「ほぞ」
 など木材を接合する部分は
 伝統工法を用いて、人目に
 触れる細部や目に見えない
 部分まで丁寧な作業を行っ
 ています。

毎年、地元高知県産材の
 スギ・ヒノキを活用して、
 木造建築物の製作に取り
 組み、八棟を地域へ提供
 しています。

平成二一年度には、嶺北
 森林管理署管内の工石山
 国有林において、展望台の
 製作を実施しており、平成
 二五年度には、香美市香北
 町からの依頼を受け、江戸
 時代の一六八七年に建立さ
 れた、歴史的建築物「観音
 堂」の建て替えを行い、そ
 の際には、「あり」「ほぞ」
 など木材を接合する部分は
 伝統工法を用いて、人目に
 触れる細部や目に見えない
 部分まで丁寧な作業を行っ
 ています。

この、伝達式の様子も、
 当日、夕方の地元テレビで
 放映され、また、翌日の地
 元新聞に掲載されたり、大
 いに国有林のPRにもなり
 ました。

また、こうした取り組み
 については、当局で毎年
 実施している、四国森林・
 林業研究発表会において
 発表し、地元テレビ局を
 はじめ、地元新聞にも取
 り上げられるなど、国産
 材のPRにも大きく貢献
 しています。

『第一回 木の子ども祭』開催

〈技術普及課〉

五月一日、「第一回木の子ども祭」が、高知県高知市の内緑地（高知城南側）で開催されました。この催しは、木育の視点で、子どもをはじめとする全ての人々が、木と五感でふれあひ、人や自然に対する「思いやり」や「優しさ」を育むことを目的としております。



浅川局長のあいさつ

まず、オープニングセレモニーで浅川局長が「木材は、素晴らしい特性をたくさん備えているので、今日は、改めて木の良さ、素晴らしさをたっぷり体感していただき、木材の

ユニークけん玉（文字けん）



ターゲットしました。スタート後まもなくして、森林ボランティアの正岡さんの巧みな話術のもと、約五〇名の親子が参加して、ユニークけん玉競争（文字けん玉）が行われ、大人と子どもの優勝者にはそれぞれ賞品が渡されました。なかなか引つかかってくれないむし剣に、全員が一喜一憂しながら、親子で応援し合い、大変微笑ましい光景でした。

また、射的（ゴム鉄砲）



ユニークけん玉（むしの文字けん）

利用にご理解とご協力をお願いします。」と呼び掛け、子ども達のウグイス笛でスレました。なかなか引つかかってくれないむし剣に、全員が一喜一憂しながら、親子で応援し合い、大変微笑ましい光景でした。



射的大会、上手く当たるかな

の大会も三回行われ、一位はゴム鉄砲、二位はカエルの鉛筆、三位にはカエルのキーホルダーの賞品がありました。一位になった子どもさんは精巧に作られたゴム鉄砲に大喜びして、大事そうに持ち帰っていました。

当日は日差しが強く、日向では少し汗ばむ陽気でしたが、親子連れはもとより、おじいさん、おばあさんや、日曜日ということもあり、近くで行われていた日曜市や、高知城の観光客も参加され大変な賑わいでした。

各地のたより



「森林環境学習・八面山&三本杭登山体験」
「高校生に森林環境教育」
「ふれあい推進センター」

五月一三日、高知県立四万十高校自然環境コースの一年生七名を対象に、森林環境学習と地域の山の登山を体験することを目的に八面山はちめんざん及び三本杭さんほんぐい登山を実施しました。

四万十高校では毎年、屋久島での自然環境学習を行っており、その予行演習も兼ねたものです。

当日は、季節外れの台風

一過の晴天に恵まれ、生徒はこの日を楽しみにしていたとのことで、新緑の中、新鮮な空気を吸い込んで元



八面山山頂で

気よく出発しました。

登山の道中では、

職員が、アカマツと

クロマツの見分け方

やミズメの樹皮が、

サロンパスの臭いが

すること、ブナ等に

ついて樹木の名前や特徴を説明しました。

また、ニ



三本杭山頂を目指して

ホンジカによるリョウブ等の樹木の剥皮被害や

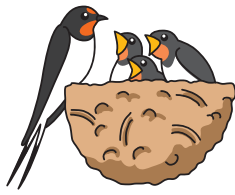
登山開始から二時間程で三本杭に全員到着しました。

森林総合研究所四国支所と当センターの共同でのシカ試験地の取り組みについて説明しました。

山頂では、当センターが設置したシカ防護ネットや、ボランティア等によるミヤコザサの移植などによって植生の回復が見られていること等を説

明すると、熱心にメモを取りながら、学習をしていました。

下山後、生徒代表から、「今回の登山を通じ、森林についていろいろな体験や学習が出来ました。本日はどうもありがとうございました。」と挨拶があり、当センターとしても、学校の要請に応えることができた、良い一日でした。



六月四日、高知県土佐清水市立中浜小学校の三、六年生一四名を対象に、通学路の樹木学習と樹木名板作



通学路の樹木学習

製を行いました。

今回の学習は、通学路にある樹木の名前や特徴を調べて樹木名板を作り、設置することで、季節ごとの樹木の様子を観察し、樹木について感心を持ってもらう

目的で実施しました。

最初に下敷

き「森林の大切な働き」を配布して、私達が日常生活をする上で大切な森林の働きについて説明しました。

次に、大浜と中浜の通学路を歩いて、

ナンテンの実を咳止

樹木名板完成



スターカラーで和名と科名を書き、余白には、思い思いのイラストを描いて樹木名板を完成させました。

最後に、「ナツグミが食べられるとは知らなかった。」「モチノキやネズミモチなどおもしろい名前の木があることがわかった。」「毎日通っている通学路の樹木の名前がわかったので良かった。」等の感想がありました。

今後、七月に木工クラブト学習等を行う予定であり、さまざまな学習を通して樹木や自然、森林等についての興味や理解を深めてもらうことを期待しています。

「源平屋島の森」で今年も地域総出でボランティア活動
〈香川森林管理事務所〉

香川県高松市屋島にある国有林内の、古の源平古戦場を見下ろす風光明媚



森林ボランティア活動に参加される皆様

媚な地に「源平屋島の森」が設けられています。この森は、

平成一八年、貸付跡地及びその周辺の林地約二ヘクタールに

ついて、観光地・屋

島で行う森林再生を手伝っていただこう

と、スギや

ヒノキをはじめ、ヤマ

ザクラ、クヌギ、

イロハカエデ、

オンツツジなど

四季を通じて親

しめる樹種を選

定し、地元自治

会や小学生を中

心としたボラン

ティアの皆さん

です。

今年で一〇年が経過し、

植えた木も立派に成長した

ものの、林内の環境をより

良くしようと、今でも毎年

地域総出で森の手入れをボ

ランティアで行っています。

森林ボランティア活動、下草刈り中



今年も、五月二四日の

日曜日に下草刈りやつる

切り作業を実施しまし

た。集合場所である屋島

東小学校には早朝から鎌

を持ったグループや親子

連れが続々と集合。あつ

という間に一〇〇人を超

えるボランティアの人た

ちで校庭がいっぱいにな

りました。当所長や校長

先生のあいさつのもと総

括森林整備官より注意事

項を説明、その後みんな

で森に入り約二時間、大

汗をかきながら一生懸命

に手入れを行いました。

慣れない森の中の作業

にもかかわらず、終わっ

てみれば大人も子供も笑

顔、笑顔：「清々しくて

気持ち良かった、また来

年もやろうな。」と、多く

の皆さんの暖かい声に、

参加した職員一同あらた

めて「国民参加の森林づ

くり」の意義を再認識し

ました。

沖林野庁次長が来県
〈愛媛森林管理署〉

五月二三日、日本木材青

壮年団体連合会の第六〇回

記念全国会員四国愛媛大会

が開催され、式典出席のた

め林野庁の沖修司次長が来

県されました。

沖次長は、式典前に、

中村時広愛媛県知事を表敬

挨拶される沖次長



訪問されるとともに、木二五年創業で米ヒバ材の造（一部コンクリート造）取扱いは国内トップシェア。現在、国産ヒノキ材のある愛媛県武道館（平成一五年完成）を視察されました。

式典当日は午前中に、西条市にある（株）サイプレス・スナダヤ（明治サイエンス）を視察され、

の評価を質問され、同社は、国産ヒノキ材は材質、サイズともに輸入材を上回ることを説明し、今後の安定供給を強く希望するとされました。



六月二二日、一般社団法人香川県総合建設センターの依頼を受けて、川畑署長がFM愛媛ラジオに出演し木づかいの推進についてPRを行いました。

このラジオ放送は、林野庁の補助事業である木造住宅等地域材利用拡大事業の一環として、木の良さや木づかいによる環境貢献などを通じて愛媛県における地域材利用の意義について、消費者に広く知って頂くことを目的とし、その広報展

午後からは式典に参加され、その後、休日でしたが愛媛森林管理署の庁舎も視察して頂きました。

開の一つとして行われたものです。

この放送は、パーソナリティーからの質問に答える形式で行われ、川畑署長は、現在の四国局の取組の紹介を行うとともに、山や木と人の関係、国民参加の森林づくり、木づかいについて林野庁や四国局の取組を交えて説明し、国民の皆様

に、山や木と人の関係、国民参加の森林づくり、木づかいについて林野庁や四国局の取組を交えて説明し、国民の皆様

様々な場面において木材を使って頂くように強く訴えました。

収録中の川畑署長（右）



ラジオということですが、多くの県民の皆様が四国局の取組や木づかいのPRを行うことが出来たと思います。今後とも、当署としては様々な機会を捉えて四国局及び愛媛署のPRを行っていく考えです。